

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和9年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	03 地域地区
事務事業名		01	都市計画総括事業
		根拠法令・例規等	都市計画法
		担当課(室)	都市整備課
		職・氏名	都市建築係長 植田明彦
		電話	0869-64-1834
		このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内居住者及び来訪者
目的(何のために)	都市の健全な発展と秩序ある整備を行う
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	都市の健全な発展と秩序ある整備を行うための審議

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	都市計画審議会運営事務	都市計画法に基づくもの及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査、審議、決定するための都市計画審議会の運営事務	
	都市計画総括事務	都市の発展を計画的に誘導することにより、秩序ある市街地形成を導くための都市計画全般に係る事務	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		247	35	5,153
	必要人員(人件費)	千円	0.49人 4,341	0.42人 3,944	0.27人 2,670
	事業費		4,588	3,979	7,823
	国県支出金				1,660
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()				72	
一般財源		4,588	3,979	6,091	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	結果指標量	回	1	0	1
	対前年比	%	-	0.0%	
	活動コスト	円	4,588,000	3,979,000	7,823,000
	単位当たりコスト		4,588,000	#DIV/0!	7,823,000

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
都市計画審議会運営回数	目標値(A)	1	1	1	2
	実績値(B)	1	0	1	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	0.00%	100.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
都市計画審議会運営回数/年1回					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> B

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	都市計画決定案件を含めて、H22年度中に2回の都市計画審議会の開催を予定している。					

総合評価	
都市計画は長期的な視点からまちづくりを進めるうえでの指針となるものであるが、時代や社会情勢の変化に応じて都市計画の見直しを行っていく必要がある。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方針及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	市の秩序ある発展のため、都市計画区域をはじめ都市計画について検討する必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
 留意事項の目的やその数値目標を達成するための下書きを

